



Amir Tsarfati

[イスラエルと大患難]



ゴラン高原の南部より、シャローム。

ここは、私の後ろのガリラヤの海を見下ろす高原で、長さ約 50 キロ、幅 20 キロの領土です。またここは、1967 年にイスラエルが、シリアから奪った領土でした。下のユダヤ人の住民に対する、真上に居たシリア軍による、長年の嫌がらせの後の事です。ところで、私達がいる、軍の地下壕は、もともと、イギリス人が建てたかもしれませんが、しかし、ガリラヤ湖と、イスラエルの国家の眺めをもって、シリア軍が使用していました。この「イスラエルと大患難」を、この場所で教える理由は非常にシンプルで象徴的です。



この場所で、1973 年、イスラエル国家は絶滅寸前に陥り、1967 年には、非常に驚くべき軍事作戦で、6 日以内に、我々は領土を 4 倍に拡大し、そして、その 6 日間の戦争の 4 日目と 5 日目に、私達はゴラン高原を占領しましたが、数年後、私達は、こ

の土地を失いそうになっただけでなく、1967 年の敗北の復讐と、イスラエル国家に終止符を打つ決意を固めた軍隊によって、我々は、完全に全滅する瀬戸際にありました。

[イスラエルと大患難]

ですから、この場所から、絶滅寸前になるイスラエルの将来の章について、お話しします。しかし、その時、以前の他の時代とは異なり、神が完全に制御されているだけでなく、何らかの世界の変化と、それに続く大惨事を神は、定めておられます。

それには、イスラエルの人々、ユダヤ人だけでなく、首都エルサレムを含むイスラエル国土、国が関わることを、私達は知っています。

聖書は、何が起こるかだけでなく、どこで起こるのかも、明確に説明しています。

私は「イスラエルと大患難」の教えを、申命記 30 章で、主がモーセにお与えになった、明確な警告で始めたいと思います。主は仰いました。

19 私は、きょう、あなたがたに対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、

20 あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすがりなさい。確かに、主はあなたのいのちであり、あなたは…長く生きて住む。

(申命記 30:19)

神が、私達に自由意志を与え、そして明確な選択があることが、ここで分かります。

死があり、命があり、呪いがあり、祝福がある。

「あなたは、いのちを選びなさい。」

そして、いのちを選ぶ唯一の方法は、命を与える方である、主を選ぶ事です。
また聖書は告げています。主は、あなたの“いのち”であられるだけでなく、

20 あなたは主が、あなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた地で、長く生きて住む。

(申命記 30:20)

ですから、ユダヤ人の神と神の御言葉への従順さと、彼らの神への信仰が、彼らが神から与えられた土地を保持する事と、直結していることが、はっきりと見ることができます。また、彼らが神を離れると、彼らは文字通り彼らの土地から追い出される事が許されたことも、分かります。また、すでにユダヤ人離散にあった預言者ダニエルが、イスラエルの国を襲おうとしている、はるかに大きな事について書いています。



神が、イスラエルの民に警告しておられる、主要なことの一つは、神は、宗教には興味がなく、主との個人的な関係を望んでおられるという事、預言書の中に、非常に驚く形で見られます。エレミヤは2章1-3節で言います。

- 1 ついで、私に次のような主のことばがあった。
- 2 「さあ、行って、主はこう仰せられると言って、エルサレムの人々の耳に呼ばわれ。
わたしは、あなたの若かったころの誠実、婚約時代の愛、
荒野の種も蒔かれていない地でのわたしへの従順を覚えている。
- 3 イスラエルは主の聖なるもの、その収穫の初穂であった。これを食らう者はだれでも罪に定められ、
わざわいをこうむったものだ。—— 主の御告げ ——」

(エレミヤ 2:1-3)

神とイスラエルの間には、驚くべき親密な関係がありました。彼らが土地に入る前、彼らが腐敗する前、彼らが宗教を始める前、素晴らしい関係があったのです。

そして、神は仰いました。「見なさい。わたしは当時を覚えている。あなた方は、わたしの民である事を、周りの誰もが知って、彼らは、とても恐れていた。そして、あなたに敵対する者は誰でも、実際に食い尽くされた。」

私が、主を受け入れ、メシアを信じるようになった時、よく覚えています。まず初めに、イザヤ書の最初の章を読んで、本当に衝撃を受けたのです。実際、私がイエシュアを信じるに至った時、新約聖書の一節も読みませんでした。ところで、私の目には、イザヤ書を通して、全体にイエスがいました。

だから私が、イザヤ1章を開いて、これを聞いた時、

10 聞け。ソドムの首領たち。主のことばを。耳を傾けよ。ゴモラの民。私たちの神のみおしえに。

(イザヤ 1:10)

神は、当時のイスラエルをそのように描写されたのです。ソドムとゴモラのような、と。

そして、見てください。

11 「あなたがたの多くのいけにえは、

わたしに何になろう」と、主は仰せられる。

「わたしは、雄羊の全焼のいけにえや、肥えた家畜の脂肪に飽きた。

雄牛、子羊、雄やぎの血も喜ばない。

- 12 あなたがたは、わたしに会いに出て来るが、
だれが、わたしの庭を踏みつけよ、と
あなたがたに求めたのか。

(イザヤ 1:11-12)

神は言います。「わたしは、宗教には興味がない。」

「あなたの心が正しくない時、わたしは、こんないけにえなど要らない。」主は言います。

- 13 もう、むなしいささげ物を携えて来るな。
香の煙——それもわたしの忌みきらうもの。新月の祭りと安息日——会合の召集、
不義と、きよめの集会、これにわたしは耐えられない。

(イザヤ 1:13)

主が言ったことを見てください。

主は仰いました。

新月の祭りと例祭、これにわたしは耐えられない。…

これを読んだ時、私は、椅子から転げ落ちそうになりました。つまり、神はイスラエルの民に仰っている？ 私達はヘブライ語で「ロシュ・ホデシュ」と言いますが、新月、それから祭り、モアディム、ハギム、これらはすべて、私達が聖書の特にレビ記 23 章で読んでいるもので、主が、彼らに、これを祝えと定められたのに、神が、それらのものを憎む？それは本当です。私達が、自動的に組み込まれたように振る舞う時、主はそれを憎まれます。私達が宗教的に行動する時、主はそれを嫌われます。

主は言われます。「わたしは、こんな事には興味がない。」

「あなたの手が汚れているのに、どうしてそんな事が出来るのか？」

「…不義と、きよめの集会、これにわたしは耐えられない。」

- 14 …それはわたしの重荷となり、わたしは負うのに疲れ果てた。
15 あなたがたが手を差し伸べて祈っても、わたしはあなたがたから目をそらす。
どんなに祈りを増し加えても、聞くことはない。あなたがたの手は血まみれだ。

(イザヤ 1:14-15)

いいですか？ 手を血まみれにするために、本物の血を手にする必要はありません。

ただ、お腹の中の子どものように、無実の人の命を終わらせる事を、支持するだけで十分です。

そして見ての通り、主は続けて仰います。

- 16 洗え。身をきよめよ。
わたしの前で、あなたがたの悪を取り除け。
悪事を働くのをやめよ。
17 善をなすことを習い、公正を求め、しいたげる者を正し、
みなしごのために正しいさばきをなし、やもめのために弁護せよ。

18 「さあ、来たれ。論じ合おう」と主は仰せられる。…

19 …もし喜んで聞こうとするなら、あなたがたは、この国の良い物を食べることができる。」

(イザヤ 1:16-19)

ほら、主は、土地に戻られます。イスラエルの霊的な状態は、常に彼らと国土の間で起こっていることを反映します。そして、彼は言います。

19 …あなたがたは、この国の良い物を食べることができる。

20 しかし、もし拒み、そむくなら、あなたがたは剣にのまれる」と、主の御口が語られたからである。

(イザヤ 1:19-20)

ですから、神は、神が心より愛される国に悪をもたらす事には、興味がありません。神は、彼らを“懲らしめる”のです。

私は、私の息子たちと娘を懲らしめました。私は子ども達の父親で、彼らを愛していますから、彼らには、間違っただけをして欲しくありません。子ども達が、最終的に、その結果に苦しむようなことは望みません。

これらは、最終的に生と死に関わるものです。神は、申命記第 30 章で、そう仰ったのです。

あなたの選択は、生か死のどちらかにつながる。そして主は言います。「あなたは命を選びなさい。」

そして、私達はすでに知っています。命が誰であるか、誰が道であり、誰が真実であるか。

メシア、イエシュアです。

だから、彼を拒絶することで、あなたはすでに、何らかの形で命を選んでいません。そして興味深い事に、まさに、これから私達がお話しする状況、大患難時代の焦点、イスラエルです。

大患難とは何か？ 多くの患難があります。

イエスは、実際、彼ご自身の弟子たちに仰いました。

33 …あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。

わたしはすでに世に勝ったのです。

(ヨハネ 16:33)

非常に多くの邪悪な人間が溢れかえり、日常的に数々の悪が行われるこの邪悪な世界での生活、人生は容易ではありません。

私達はそれを知っています。私達はそれを見てきました。バラ色ではありません。

非常に多くの困難、戦争や飢饉や疫病、パンデミックがあり、この世には多くの苦しみがあります。

人は互いに憎み合い、実際、人間の最大の敵は人間です。

聖書は 箴言 3 章 11-12 で、次のように述べています。

11 わが子よ。主の懲らしめをないがしろにするな。その叱責をいとうな。

12 父がかわいがる子をしかるように、主は愛する者をしかる。

(箴言 3:11-12)

イザヤ 65 章 1-2 は告げています。

1 わたしに問わなかった者たちに、わたしは尋ねられ、わたしを捜さなかった者たちに、見つけられた。わたしは、わたしの名を呼び求めなかった国民に向かって、「わたしはここだ、わたしはここだ」と言った。

- 2 わたしは、反逆の民、自分の思いに従って良くない道を歩む者たちに、一日中、わたしの手を差し伸べた。
- 3 この民は、いつもわたしに逆らってわたしの怒りを引き起こし…」

(イザヤ 65:1-3)

私の最愛の牧師の一人が、私に教えてくれました。

「アミール、幸福と喜びは、非常に多くの異なる方法で翻訳されるが、しかし、苦しみは一つだ。」
苦しみは、誰もが理解する唯一の言語です。残念ながら、本当に私達を常に追跡に戻すのは、唯一それだけです。

イスラエルでは「答えを持って戻ってくる」を意味する「ラクソール・ベシュバ」という言葉があります。非常に興味深い事に、「ベシュバ」の意味は、“答え”だけではなく、「ラシュブ」「戻る」という意味もあります。驚きです。「帰って来て、わたしのところに戻りなさい。」そして彼は言われます。

「そうすればわたしは、あなたに戻ろう。わたしはここにいる。」

- 18 …まことをもって主を呼び求める者すべてに
主は近くあられる。

(詩篇 145:18)

マタイ 23 章の、主の言葉を見てください。イエスは、エルサレムの街をご覧になり、

- 37 ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。
わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。
それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。
- 38 見なさい。あなたがたの家は荒れ果てたままに残される。あなたがたに告げます。
「バルーク・ハバ・ベシム・アドナイ」 = 『祝福あれ。主の御名によって来られる方に』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。」

(マタイ 23:37-39)

彼は言います。「見なさい。あなたはあなた自身の罪の結果に苦しんでいるのだ。あなたが戻るまで、わたしに会うことはできない。」

「あなたは戻ってきて、わたしに来るように言いなさい。そうすれば、わたしは戻って来ます。」

「あなたがわたしのところに戻って来れば、わたしはあなたに戻ります。」そういうものです。



ですから、7年の大患難が始まる前に… 私達がいる今がそれです。私達は大患難の前で、それは、まだ始まっていません。はっきりと見て分かる通り、主は、預言者を通して イスラエル国の物理的な回復を約束されました。

“物理的”とは、彼らがどこに居ようと、物理的に取り出され、土地は、物理的に回復され、緑豊かに生い茂り、繁栄します。そして、回復された人々は、物理的に回復された土地に戻されます。



そして、言語が回復され、イスラエルの国家特権の象徴であるイチジクの木が物理的に、生き返ります。

イスラエルは、73年前、土地に戻ってきました。イスラエルは土地に戻ってきま

した。イスラエルは現在、世界で最も強力な 8 カ国の一つと考えられています。
 イスラエルは、世界で 3 番目に月面着陸した国です。イスラエルは、非常に多くの分野で世界最先端の国、ほんの 40 年ほど前、ほぼ全滅寸前だった国です。シリア軍が、この地下壕と、この地域のいたるところに来て、私達の存在を、ほとんど終わらせようとしてきました。しかし私達は、まだここにあります。物理的な回復の約束があったからです。神は、ご自分の約束を果たす神です。
 ですから、ここで私達は、まず、物理的に回復され、イスラエルの土地に戻っています。エゼキエル 36 章が告げています。

8 **だが、おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰って来るのが近いからだ。**

(エゼキエル 36:8)

死んでいた土地、1860 年、マーク・トウェインが言いました。

「砂漠と大の仲良しであるサボテンさえ、ここでは育たなかった。」

マーク・トウェインの言葉によると、不毛な荒地だった土地… ところで、マーク・トウェインは、この土地については、これらの酷い言葉を言い、そして、彼はダマスカスを訪れた時、その美しさを賞賛しましたが、2021 年に、ダマスカスの方が、ほとんど廃墟になり、そして、この土地が、非常に繁栄した国になっているなど、誰が想像したでしょう。しかし、これをご覧ください！

その後、人々が土地に戻って回復される為には、まず、土地が回復されなければならなかったのです。彼は言いました。



8 **だが、おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰って来るのが近いからだ。**

9 **わたしはおまえたちのところに行き、おまえたちのところに向かう。おまえたちは耕され、種が蒔かれる。**

10 **わたしは、おまえたちの上に人をふやし…**

(エゼキエル 36:8-10a)

ご覧ください。世界中から、ユダヤ人をいっぱい乗せた飛行機が到着しています。



今日でも、至る所から来ています。インド、エチオピア、アメリカから、英国から、ウクライナから、ロシアから、非常に多くの他の場所から、ユダヤ人が、あちこちから物理的に帰還しています。

…町々には人が住みつき、廃墟は建て直される。

(エゼキエル 36:10b)



イスラエルに来て、この繁栄をご覧ください。



11 わたしは、おまえたちの上に人と獣をふやす。彼らはふえ、多くの子を生む。わたしはおまえたちのところに、昔のように人を住ませる。いや、以前よりも栄えさせる。

(エゼキエル 36:11a)

22 それゆえ、イスラエルの家に言え。神である主はこう仰せられる。イスラエルの家よ。わたしが事を行うのは、あなたがたのためではなく、あなたがたが行った諸国の民の間であなたがたが汚した、わたしの聖なる名のためである。



23 わたしは、諸国の民の間で汚され、あなたがたが彼らの間で汚したわたしの偉大な名の聖なることを示す。

(エゼキエル 36:22-23a)

神は仰います。「見なさい。わたしがあなた方を連れ戻すのは、あなた方が、とても完璧だからではない。それは、わたしがあなたを愛し、あなた方を連れ戻す事を、わたしが、あなたの父祖たちに約束したからだ。」

イスラエルは、驚くべき約束と、約束を守られるすばらしい神の恩恵を受けています。

ありがたいことに、私達は、物理的な回復がまず起こったことがわかります。私達は、ここに居ますから。そして、聖書は言います。時が来ると、イスラエルは、土地が回復されるだけでなく、イスラエルは安心、安全で繁栄する。



これです。皆さん、この1年、2020年、テロや戦争で死亡した軍や民間人の数は、1948年の建国以来最少です。ここまで少なかったことはありません。私達は、今日ほど国家として繁栄したことはありませんでした。

聖書は、特定の国がイスラエルに攻め込む戦争が起こると述べています。そして、興味深い事に、2020年および、2021年現在、その戦争の舞台は、整っています。聖書は言います。イスラエルは、非常に繁栄し、非常に多くのものを持っている為、それを狙う者達が、連合軍となって、北からイスラエルを攻撃する。それがこの場所です。私達は今イスラエル北部にいて、彼らは、その方向から来ます。



そして、聖書は、ロシュ、メシエクとトバルについて告げています。ペルシャ、ゴメル、ベテ・トガルマ、それからプテとクシュも、彼らに加わります。これらは聖書の名前で、今日のロシア、トルコ、イラン、反対側からは、リビアとスーダンです。そして、聖書によれば、彼らが攻めるのは、政治的なものではなく、宗教的なことでもなく、聖書によれば、他の国々が批判して言います。

13 …「あなたは物を分捕り、獲物をかすめ奪うために来たのか？」

(エゼキエル 38:13 抜粋)

言い換えれば、「あなたは金銭的利益を得る為に、何かを盗むために来たのか？」

パレスチナ国家や、必ずしもイスラム教徒や非イスラム教徒の問題ではありません。ある時点で、イスラエルは、他が何かを奪う為に侵略して来るようになります。そして、それは土地ではありません。さて、皆さ

ん、よく聞いてください。それは、世界中で感じられる大戦争になり、その戦争は、強く、安心、安全で繁栄した国イスラエルの存在に敵対するものです。しかし、皆さん、理解する必要があります。皆さん、理解してください。

ダニエルは言います。

24 あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。

それは、そむきをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖い、永遠の義をもたらし、
幻と預言とを確証し、至聖所に油をそそぐためである。

(ダニエル 9:23-24)

言い換えれば、ダニエルはこう言っているのです。エルサレムを再建する法令が与えられた瞬間から、数え始めなさい。メシヤがエルサレムに入り、罪のない彼が殺される日までの、正確な日、週、月、年数を教えます。そして彼は、その後には別の週がある、と言います。分けられた、異なる週。その週はまた、イスラエルが全て、また、エルサレムが全てです。

そして、それは、最終的には、メシヤの再臨についてです。しかし、その週は、イスラエル国家、少なくともメシヤを拒絶した者たちにとって、非常に悲惨な期間から始まります。

ご覧ください。エレミヤ 30 章は告げています。

7 ああ。その日は大いなる日、比べるものもない日だ。

それはヤコブにも苦難の時だ。しかし彼はそれから救われる。

8 その日になると、—— 万軍の主の御告げ —— わたしは彼らの首のくびきを砕き、彼らのなわめを解く。他国人は二度と彼らを奴隷にしない。

9 彼らは彼らの神、主と、わたしが彼らのために立てる彼らの王ダビデに仕えよう。

(エレミヤ 30:7-9)

ちょっと考えてみてください。イスラエルは、恐ろしい状況を経験します。それは「ヤコブの苦難」と呼ばれ、イスラエルにとって苦難です。もちろん、全世界が苦しみます。しかし、イスラエルは、最終的にそれから救われます。彼は、それを言っているのです。そう言っているのは、彼だけではありません。

1 その時、あなたの国の人々を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる。

(ダニエル書 12:1a)

彼は、イスラエルの人々、イスラエル国のために任命された御使いがいる、と言います。

そして、苦難の時が来る、と。また、同じ言葉です。患難、苦難、ヤコブの苦難。

1 …国が始まって以来、その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る。 (ダニエル 12:1b)

さて、間違えてはいけません。ダニエルは、少年の時、エルサレムから連れ出されたのです。覚えていますか？ アッシリア人とバビロニア人によってエルサレムが、破壊された時、バビロンがそこにいて、都は完全に崩れ去り、ダニエルは、イスラエルの歴史の中で恐ろしい章を見たのです。しかし、それとは比べものにならないような事が将来起こる、と彼は言います。それから…

1 …しかし、その時、あなたの民で、あの書にしるされている者はすべて救われる。

(ダニエル 12:1c)

それはどういう意味ですか。それは、大患難を通して彼らが悔い改め、そして、彼らの名前が、“子羊のいのちの書”に書かれ、そしてもちろん、彼らは救われる、という事です。

興味深い事に、同じダニエル9章で彼は言います。

「覚えておいてください。最後の一週で、世界の指導者が出現し、契約を確認します。しかし、覚えておいてください。その週の途中で、彼はそれを破ります。」(27節参照)

思い出してください。使徒パウロが、テサロニケの人達に手紙を書いた時、彼は、終末を説明し、教会の携挙のタイミングを説明しながら、言いました。

「私が言った事を忘れたのですか？ 世界の指導者が現れ、そして、その世界の指導者は、神の神殿に入り、自分自身を神として宣言します。」

それは、イスラエルが、“偽のメシア時代”を楽しむことを意味します

それは彼らが神殿を建設し、いけにえを再開することを可能にし、そして、平和があり、繁栄がある。

「メシア時代だ！」

そしてもちろん、その契約を確認するその世界の指導者は、メシアとして賞賛されます。それが、ほんの3年半後に、彼は偽のメシア、反キリストであっただけでなく、彼は、実際、イスラエルの最大の敵である事に気づきます。

さて、興味深いのは、その来る日について、イエスが、イスラエルの国に警告した事が、聖書に書かれています。マタイ24章15-22には、こうあります。

15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られた、あの『荒らす憎むべき者』が、聖なる所に立つのを見たならば…

それについて書いた、あの同じダニエル9章です。彼は『聖なる所に立つ』と言いました。イエスは、偽の神殿、第三神殿があることを認識しています。そして言います。

15 …（読者はよく読み取るように。）

16 そのときは、ユダヤにいる人々は山へ逃げなさい。

17 屋上にいる者は家の中の物を持ち出そうと下に降りてはいけません。

18 畑にいる者は着物を取りに戻ってはいけません。

19 だがその日、哀れなのは身重の女と乳飲み子を持つ女です。

20 ただ、あなたがたの逃げるのが、冬や安息日にならぬよう祈りなさい。

21 そのときには、世の初めから、今に至るまで、いまだかつてなかったような、またこれからもないような、ひどい苦難があるからです。

(マタイ 24:15-21)

同じ言葉、ダニエル12章で使われているのと同じ言葉です。神によって語られ、御使いを通してダニエルに伝えられた言葉。

「もし、その日数が少なくされなかったら…」

彼は言いました。それは、非常に壊滅的で、歴史の中で起こった事も、将来起こるどんな事も比べ物にならない。それほどの事です。

22 もし、その日数が少なくされなかったら、ひとりとして救われる者はないでしょう。

しかし、選ばれた者のために…

主に信頼をおく者、イスラエルの間から、また、他のところからも、主に応えたすべての人の為に、

22 …選ばれた者のために、その日数は少なくされます。

(マタイ 24:22)

言い換えれば、7年の内、3年半は完全な欺瞞で、次の3年半は完全な物理的破壊です。

ありがたいことに、それ以上は続きません。

さて、教会が携挙されると、今度は、焦点が移行して、イスラエルに戻ります。彼らが懲らしめられ、そして主に戻るために。私達は、非常に興味深い事が起こるのを見ています。それは、黙示録7章で初めて言及されていますが、しかし、元々の時系列的な順序では、それはまた、第14章にあります。

そこには、主に印を押された144,000人のユダヤ人がいる、と書かれています。

それはどういう意味か。それは、神が再び、イスラエル国を使って、世界の国々に、神ご自身を示されるという意味です。

4 それから私が、印を押された人々の数を聞くと、イスラエルの子孫のあらゆる部族の者が印を押されていて、十四万四千人であった。

(黙示録 7:4)

彼らは額に印を押された、イスラエル国の人達でした。ご覧のとおり、イスラエルには大患難を通してさえも、諸国の光となる目的があるのです。しかし、もちろん自由意志があります。間違えてはいけません。なぜ彼は、144,000人だけだと言っているのか？

なぜなら、彼らは印を押されているが、残り的人たちは、自身で選択をしなければならないのです。

残りの者は、最終的に決めなければなりません。従うのか、従わないのか、

反キリストに従うのか、イエス・キリストに従うのか。

しかし、彼らは決心しなければなりません。彼らが、獣、偽預言者と反キリストが率いるシステムに属し、彼らの手に落ちるのか、あるいは、キリストへの信仰のためにひどく激しい迫害に苦しむのか。

大患難を通して、数々の恐ろしい事がイスラエルを襲うと私達は聞いています。

しかし、私達はまた、光を垣間見ることができます。神が、まだ彼らを用いられる、彼らのためだけでなく、全世界のために。

ゼカリヤ13章は、嘆かわしい現実を与えています。聖書は告げます。

8 全地はこうなる。—— 主の御告げ ——

その三分の二は断たれ、死に絶え、三分の一がそこに残る。

(ゼカリヤ 13:8)

そして、その3分の1は火の中をくぐり、ためされます。言い換えれば、いのちを選ぶ者だけが、最終的に命を持つという事です。そして、私達は、“いのち”とは何かを知っています。

この時点で、書の中に名前が書かれている者だけが、今、救われ、そして今、霊的な回復されます。

神は、イスラエルとの関係を望んでおられ、イスラエルは“関係”ではなく、“宗教”を選びました。

神は、彼らに言いました。「私達が関係を持っていた時代が恋しい。」

そして今、その恐ろしい7年の後、この激しく恐ろしい悪魔の迫害の後、彼らは、神の手を見るでしょう。

彼らは、メシアを見て、彼らは理解するでしょう。

彼らは、自分達が突き刺した主を見て、彼らは主に戻ります。
 まさに主が求められたように、宗教から関係、個人的な関係へ。
 エゼキエルは言います。物理的な回復の後、

- 25 わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。わたしはすべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ、
 26 あなたがたに新しい心を与え、あなたがたのうちに新しい霊を授ける。
 わたしはあなたがたのからだから石の心を取り除き、あなたがたに肉の心を与える。
 27 わたしの霊をあなたがたのうちに授け、わたしのおきてに従って歩ませ、
 わたしの定めを守り行わせる。
 28 あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み…

(エゼキエル 36:25~28a)

いま一度、土地との繋がりで。

- 28 あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住み、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。

(エゼキエル 36:28)

エレミヤ第 31 章は告げています。

- 31 見よ。その日が来る。—— 主の御告げ —— その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。
 32 その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主（夫）であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。
 —— 主の御告げ ——

(エレミヤ 31:31-32)

主は言われます。「わたしはイスラエルの夫だった。」

「イスラエルはわたしにとって、妻のようで、わたしが、彼らの手をとってエジプトから連れ出したのだ。」
 しかし、その契約、そのモーセの契約は、十分ではなかった。不十分でした。それは最終的なものではなく、彼らに罪深い性質を示す為の、一時的なものでした。しかし…

- 33 彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。
 —— 主の御告げ ——
 わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。
 わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。
 34 そのようにして、人々はもはや、『主を知れ』と言って、おのおの互いに教えない。
 それは、彼らがみな、…わたしを知るからだ。」

(エレミヤ 31:33-34)

最後の最後に、イスラエルのすべてが救われ、彼ら全員が、主を知ります。

- 34 …身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。—— 主の御告げ ——
 わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。

35 主はこう仰せられる。主は太陽を与えて昼間の光とし、 月と星を定めて夜の光とし、
海をかき立てて波を騒がせる方、その名は万軍の主。

36 「もし、これらの定めがわたしの前から取り去られるなら、—— 主の御告げ ——
イスラエルの子孫も、絶え、いつまでもわたしの前で一つの民をなすことはできない。」

(エレミヤ 31:34-36)

基本的に、神が言っておられるのは、太陽がここにあり、月と星がそこにある限り、イスラエルは、わたしの前の国である。わたしは決して彼らを離れず、彼らを見捨てない。そして、私は預言者マラキの素晴らしい聖句で締めくくりたいと思います。

6 主であるわたしは変わることがない。ヤコブの子らよ。あなたがたは、滅ぼし尽くされない。

(マラキ 3:6)

神が同じである限り、神の計画は同じ、神の御心は同じ、神の愛は同じで、神は変わっていません。

一部の人々は、神がイスラエルのことを忘れたと言います。

一部の人々は、教会がイスラエルに取って代わったと言いました。

もし、あなたがそれを言っているなら、神は変わった、とあなたは言い、あなたは、神はもはや同じ神ではない、と言っているのです。

しかし神は言っています。「主であるわたしは変わることがない。」

そして、神は言います。

「ヤコブの子らよ。あなたがたは、滅ぼし尽くされない。あなたはまだ、終わっていない。」

「あなたには、希望と未来がある。わたしが、イスラエルの主である神だから。」

「あなたを愛している。わたしに戻って来なさい。」

7 わたしのところに帰れ。そうすれば、わたしもあなたがたのところに帰ろう。

(マラキ 3:7)

2021年3月21日 公開



☞ スマートフォンのカメラで読み込むと、このメッセージを YouTube でご覧になれます。
 ≪リンク先: <https://youtu.be/BJd5eWc-82s> ≫



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel

<https://beholdisrael.org>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル ▶

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

